

# 上海かわの故

上海日本人学校浦東校  
野田 剛

平成26年3月

みなさん、こんにちは。上海日本人学校の野田です。この3月で、任期の節目の3年が終わります。そこで今回はこの3年で感じたことをランキングにまとめてお送りしたいと思います。ズバリ、そのタイトルは、

## 中国のここがスゴイ！ランキング

一、中国人も日本人と同じアジア人だということ

〜どちらも義理と人情があふれてる

中国人のイメージは必ずしも良いとはいえないと思います。しかしながら、ここ上海で3年間住んだ自分の印象は、中国人の人は日本人と同じで、とても義理と人情が厚いと思います。ただ、人によっての態度のギャップが日本人よりも激しいこと、気にするポイントが両国間で違うことが、誤解の原因をうんでいるような気がします。どこの国の人に対しても言えることですが、こちらがココロを開けば、それにしつかりと応えてくれますよ。

二、日本人がとても多く、日本らしいところが随所にあり。

〜お寿司でも畳でも和服でもなんでもあり。

ここは上海・中国。まぎれもなく外国です。しかし、住んでいる日本人の数がとても多いので、日本人が住みやすいような場所がいくつもあります。

一番は、日本食レストランの数です。一般的な寿司屋、天ぷらやの

ほかに、郷土料理をウリにしているところがあります。帯広出身の方が営業されているお店もあります。その名物は、ズバリ「豚丼」です。豚丼も世界に向けて確実にファンをふやしています。

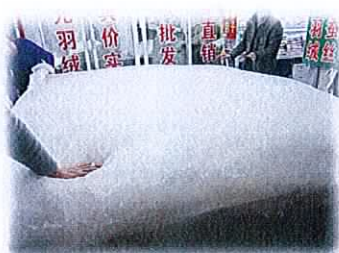
三、すごく暖かい純シルク布団が超破格値。

〜日本で買えば二十万円が〇〇円！



来ることがあれば、ぜひ触ってみてください。

この一品はもう手放せない！綿の代わりに絹（シルク）が入った布団が超安い。この布団は埃がたちにくく肌さわりがなめらかで、重さがちょうどいい。ですから、とても使いやすい！上の写真が作っている最中、下が完成した時の様子です。絹の柔らかさがよく伝わるかと思えます。このハイクオリティな一品が、およそ800円（約12800円）！みなさんも中国に



と、中国のよさを上げたらきりがありません。日本には日本のよさがあるのと同様に、中国にも中国のよさがあります。そのいいところに対する価値観が違ったため、お互いに誤解して仲良くなれないのは、とても悲しいことだと思います。それぞれのよさに注目して、日本と中国がさらに仲良くなればいいと思います。3年にわたり、お伝えしてきた「上海かわら版」ですが、この号で最終号とさせていただきます。中国のよさ・素晴らしさを少しでも感じてもらえたら嬉しいです。この長期間にわたり、読んでいただき、ありがとうございました。